

理系 = 男子を覆す。

文理の垣根を越えて

2025年4月女子大学として
日本初 理工学部 開設



理工学部部長 松浦達也  安田女子大学 広島

■ 大学紹介 建学の精神

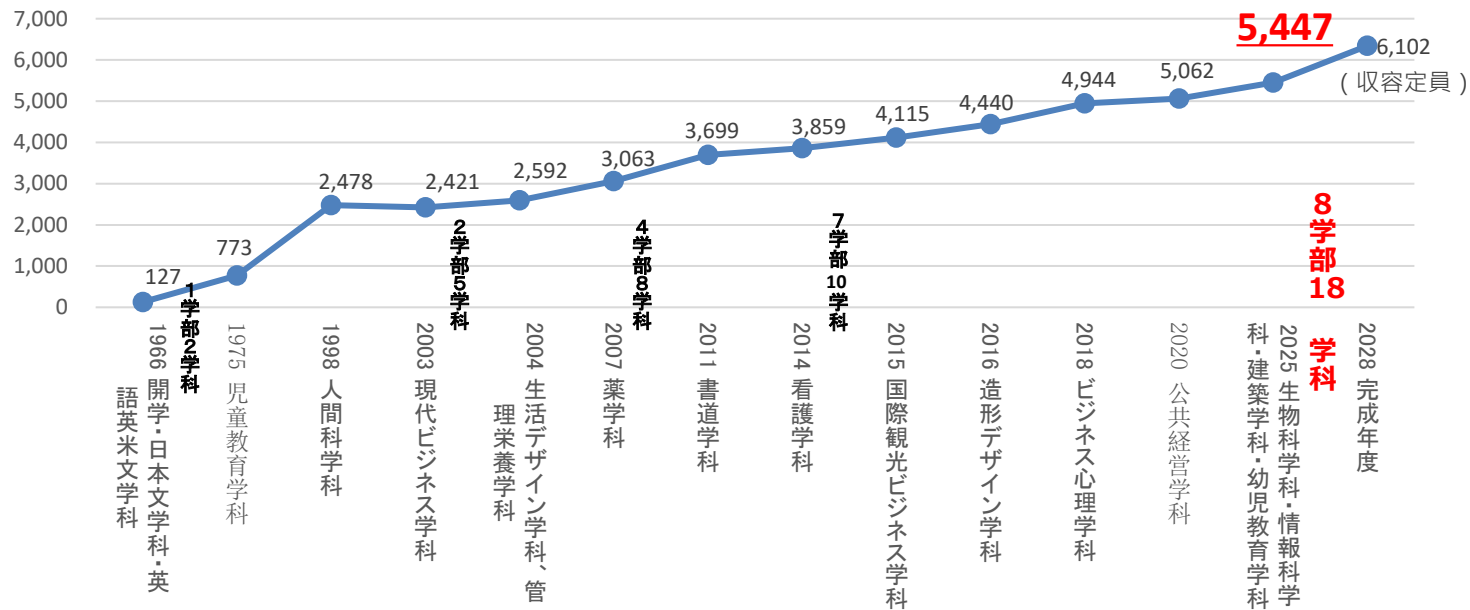
1915年の創立時、初代学園長、安田リヨウが唱えた建学の精神

やさ つよ
柔しく 剛く

人を思いやる優しさ

自らを支える力

大学紹介 地域社会の人材ニーズを予測し改組



文学部
日本文学科
書道学科
英語英米文学科

心理学部
現代心理学科
ビジネス心理学科

教育学部
児童教育学科
幼児教育学科

現代ビジネス学部
現代ビジネス学科
国際観光ビジネス学科
公共経営学科

家政学部
生活デザイン学科
管理栄養学科
造形デザイン学科

薬学部
薬学科

看護学部
看護学科

理工学部
生物科学科
情報科学科
建築学科

■ 理工学部紹介 各学科の概要

生物科学科

定員60名

- 植物を中心に、分子・細胞から生態系に至るまで幅広い階層で生物の進化や多様性の本質を学ぶ。
- 「食」「資源」「環境」に関わる諸問題を解決し、持続可能な社会構築に寄与する使命感を身に付ける。

情報科学科

定員60名

- 情報技術3分野7領域を横断的に学ぶ。
- Society5.0(サイバー空間とフィジカル空間が融合した社会)で求められる発信力・表現力・課題解決力を身に付ける。

建築学科

定員60名

- デザインを重視した意匠設計を重点的に学ぶ。
- 女性の感性・きめ細かさ・共感力を活かした建築家を目指す。
- 自然環境への配慮やエネルギー効率化などグリーン分野を含めた広範な生活環境への対応力を養う。

日本初の女子大学理工学部開設

アンコンシャス・バイアスを打破し、地域と共に人材を育てる

本学のある広島県は、

ものづくり県

教育県

でもある

中国・四国のものづくり
(製品出荷額)

1位

経済産業省「工業統計調査」

県内の大学

24大学

短期大学を含む

大学進学率

6位 / 65%

広島県HPより

日本初の女子大学理工学部開設

アンコンシャス・バイアスを打破し、地域と共に人材を育てる

地域の状況

- ▶ 県内の理工系学部設置状況は、**理学は4大学** **工学は8大学**
※広島県HPより
- ▶ 5年連続転出人口、**全国最多9,493人**（国内移動）2025年11月時点

特に最近の傾向として

10代は大学進学を機に関西へ

20代は就職を機に首都圏へ



結果として、慢性的な **理工系人材の不足**



なぜ、学部再編 だったのか？

学部新設は目的ではなく「手段」

社会変化に対応し、時代のニーズに応える

女子受験生の4年制大学志向、共学校との競合

➡ **女子総合大学として学部の充実**

理工系産業界研究・技術者のジェンダー偏在

➡ **女子大学が新設する分野だからこそその心理的安全性の担保**

理工系人材の大都市圏への流出（特にデジタル人材）

➡ **産官学連携で理工系人材を養成することで地域理解・定着の促進**

なぜ、学部再編 だったのか？

学部新設は目的ではなく「手段」

既存学部の拡張か学部新設か

既存学部の拡張の場合

- IT・デジタル人材養成 ➡ 現代ビジネス学部（社会科学系）
- 生物・生命（バイオ系）人材養成 ➡ 看護学部（保健医療系）
- 建築系人材養成 ➡ 家政学部（生活科学系）

地域から求められる人材像に対応が困難



大学が覚悟を持って“かたち”を作る必要があり、学部新設へ

理工学部開設までの課題①

学内合意形成 ～ 最大のハードル

課題

学内から出た意見



女子大学に理工学部を開設して学生は集まるのか

既存学部とのバランスはどうなるのか

解決策

建学の精神『柔しく剛く』を、 理工教育でどう体現するのか

- 文学部のみの単科大学から、建学の精神に沿って実学を中心としつつ、**地域社会の要請に応えながら教育組織を拡充したい**
- 女子大学の特長を活かし、**女性の視点や感性が今までになかった創造的イノベーションを生む教育を提供したい**



理工学部開設までの課題②

設置認可・カリキュラム

文系出身学生を前提にした理工教育設計

課題

文系の印象が強い女子大学において、理工学部への入口を広げたい



解決策

「最初から理（数）系が得意な学生」を前提に考えない

“できる学生を集める”だけでなく、“育てる設計”
に思考をシフト。

入学前学習、基礎から実践へ段階的に積み上げる構成とし、
つまづきがあってもそれをサポートする支援型の仕組みを重視。

理工学部開設までの課題③

教員採用

カリキュラムに沿った教員をいかに集めるか

現有教員で対応できない分野・領域の採用活動は非常に苦労した。

例えば…

- 情報系教員の多くは首都圏に集中し、地方で募集は困難を極めた
- 理学系教員は、海外で研究している教員からも応募があり、WEB面接
- 教員募集が苦労する中でカリキュラムと教員業績の適合性の確認

**これまで新設改組を経験してきた中でも、
初めての課題も多く、設置認可申請の前月まで苦労**

理工学部開設までの課題④

学生確保

学部開設検討時の理工系学部の女子学生は20%以下



理系 = 男子？

しかし、PISAデータ（15歳）によると、我が国の女子の数学・科学は **世界トップレベル**

仮説

潜在的な理系層が存在しており、男子中心の理工系学部で学ぶことに心理的な抵抗がある？

対策

理工系の学びを体験、**社会で活躍するロールモデルを示し、高校生、保護者、高校教員のアンコンシャスバイアスを打破できないか**

女子大学だからこそ起きた変化

アンコンシャス・バイアスが外れると、学び方が変わる！

プロジェクト型の学習では、文系の学生がその発想力やコミュニケーション能力を発揮してリーダーシップをとっている！

生物

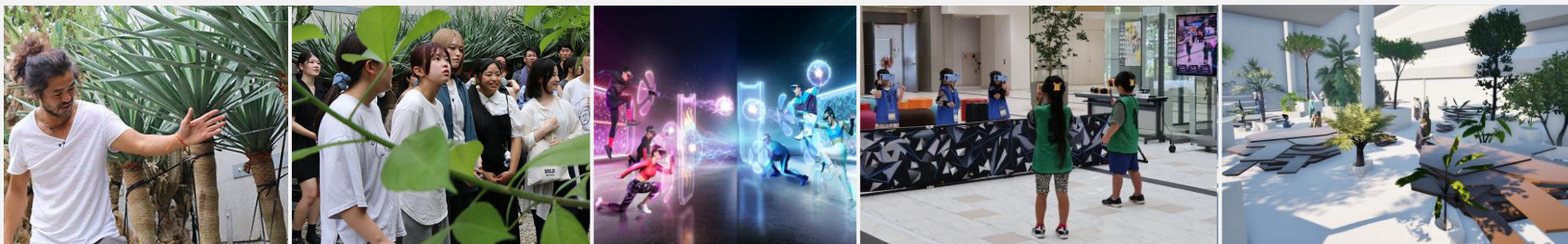
多様性の森プロジェクト

情報

eスポーツ（AR）普及活動
ラボローテーション（プレ研究室体験）

建築

古民家リノベーションプロジェクト
（その他テーマ別に18ラボ（プロジェクト）展開）



産学官連携PBLの現状

地域と共に理工系人材を育てる

学生募集活動から産官学連携の枠組みを活用

例えば…

2025年3月に **女子中高生とその保護者を対象に理系職場見学ツアー** / **Rikoフェス「半導体セミナー」**を開催

産 マイクロンメモリジャパン

- 若手女性エンジニアとワークショップを通じて交流
- 保護者は子育てベテラン女性エンジニアと理系職場について座談会

官 広島県

- 地域産業に対する理解促進を目的に広報サポート

中高生

色々な知見が得られ、好奇心が刺激されました

保護者

女子が理系進路を選択する上での不安が和らいだ

産学官連携PBLの現状

地域と共に理工系人材を育てる

このような形で地域の産官学連携の枠組みは広がり…

官公庁

広島県、農林水産省

民間
企業

マイクロンメモリジャパン、広島電鉄、サタケ、
フマキラー、ドコモCS中国、インタフェース、
サンネット、福留ハム

2026年5月、32年ぶりに我が国で開催される
『**第48回南極条約協議国会議**』に本学理工学部が協力

最後に…

学部再編を検討する地方大学へのアドバイス

01.

仮説検証の姿勢

(今までにない学部を開設する場合)

02

すそ野を広げる設計

制度との適合性・再現性

大学・高専機能強化支援事業の成果として

01

地域ニーズ起点・産官学連携による実践力養成モデルを構築中

地域産業と教育を接続する仕組みを構築中

02

女子大学ならではの理工人材育成モデルの模索

潜在的理工志向層を掘り起こす段階的・支援型教育モデル

03

学部再編・機能転換を伴う大学改革モデルとしての再現性の模索

中規模私立大学・女子大学でも実装可能な設計フレームを模索



ご清聴ありがとうございました。